

2025 岩手県 U16 陸上競技大会 競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2025 年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会の申し合わせ事項によって実施する。

2 招集について

- (1) 招集所は、第3ゲート外側に設ける。
- (2) 招集開始時刻・招集完了時刻は、プログラム記載の競技日程を参照のこと。
- (3) 招集の方法
 - ①招集開始時刻に招集所で点呼を受ける。その際、アスリートビブス・スパイクピン・競技場内への持ち込み物品などの商標の点検を受ける。トラック競技のみ、腰ナンバー標識を受け取る。
 - ②携帯電話等、競技規則 TR6. 3. 2 に関わる通信機器等を持ち込んでいないか確認を受ける。
 - ③代理人による最終点呼は認めない。2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が招集所に用意した「多種目同時出場届」に記入し1種目目の招集時に招集所へ提出する。
 - ④欠場する場合は、招集開始時刻までに「欠場届」を招集所に提出する。
 - ⑤招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権したものとみなされ出場できない。
- (4) 招集所は当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。

3 アスリートビブスについて

- (1) 主催者から配布されたアスリートビブスは、折り曲げないでユニフォームの胸と背に確実に付けること。但し、跳躍競技の競技者は、胸と背のみでよい。
- (2) トラック競技出場者は、写真判定用の腰ナンバー標識を受け取り、右後方に付けること。
- (3) 1000mの競技者は、特別アスリートビブスを使用するので、競技開始時刻1時間前までに招集所へ受け取りにくること。その際、正規のアスリートビブスを持参すること。腰ナンバー標識を2枚取り付ける。

4 競技場内への入退場について

- (1) 招集所から競技者係の誘導により競技場に入場する。
- (2) 競技終了後は、競技役員の指示に従い退場する。

5 競技の抽選、及び番組編成について（レーン順・試技順）

- (1) トラック競技のレーン順・フィールド競技の試技順は、スタートリストに記載した順による。
- (2) トラック競技で決勝が行われる種目のレーン順は正面玄関前及び招集所に掲示する。
- (3) タイムによる次のラウンドに進む競技者の決定について、最終枠に同記録がある場合は、写真判定員主任が0.001秒単位の時間を判定して競技者を決定する。レーンに余裕があれば同記録者は次のラウンドに進むことができる。レーンに余裕がない場合は抽選とする。

6 競技について

- (1) トラック競技について
 - ①トラック競技の計時は、すべて写真判定装置を使用する。
 - ②レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
 - ③短距離種目では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーンを走る。
 - ④競技規則 TR16. 8 により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。
- (2) フィールド競技について
 - ①跳躍及びジャベリックスローの競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が準備したマーカーを2個まで置くことができる。サークルで行う投てき競技は、マーカーを1個だけサークルの外側に置くことができる。

- ②棒高跳の競技者は、自分の希望する支柱の位置を「アップライト申告書」に記入し、招集開始時に招集所に提出する。その後位置を変更したい場合は担当競技役員に申し出る。なお、公式練習はゴムバーを使用する。
- ③三段跳の踏切板は、砂場から男子 10m、女子 9mの位置に設置する。
- ④フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
- ⑤フィールド競技が行われる近接のスタンドに「コーチングエリア」を設ける。

(4) 助力について

- ①競技規則 TR6 により、競技場内での助力は禁止とするが、コーチングエリア内での助言については認める。録画映像を確認する場合は、競技者から視聴可能なコーチングエリア内とする。
- ②健康上に理由により、競技者に物品を渡す必要がある場合は、マーシャルその他の競技役員を通じて物品を渡すことができる。

7 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決定するまでは次の通りとする。
(但し、天候等の状況により変更することもある。)

種 目	種 別	練 習	バーの上げ方
走高跳	男子	1m45	1m50 1m55 1m60 以降3cm
	女子	1m30	1m35 1m40 1m45 以降3cm
棒高跳	男子	2m60	2m70 2m90 3m00 以降10cm
	女子	2m00	2m10 2m20 2m30 以降10cm

8 競技用具について

- (1) 棒高跳用ポール以外、競技に使用する用具は主催者が用意したものを使用しなければならない。
- (2) スパイクピンの長さは9mm以内、走高跳・ジャベリックスローは12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
- (3) 競技用靴については、WAシューズ規則を適用し、規格外のシューズでの出場は認めない。
- (4) ハードルの高さは次の通りとする。
男子：110mH 0.991m 9.14m
女子：100mH 0.762m 8.50m
- (5) 投てき競技の使用する器具は次の通りとする。
男子：砲丸投 5.000Kg 円盤投 1.500Kg
女子：砲丸投 2.721Kg 円盤投 1.000Kg

9 結果発表と抗議について

- (1) 各種目の結果発表は、大型スクリーン及び正面玄関の掲示板とアナウンスで行う。
- (2) 抗議は、競技規則 TR8 に定められた時間（大型スクリーン表示時刻を基準とする）内に競技者自身または代理人が、同一日に次のラウンドがある場合は15分以内に、それ以外は30分以内に担当総務員に口頭で申し出ること。審判長が再度検証し、担当総務員をとおして裁定を伝える。この裁定に不服がある場合は、「上訴申立書」に記入のうえ預託金1万円を添え、審判長裁定から上記同様の決められた時間内に担当総務員に申し出る。「上訴申立書」による抗議裁定の結果は担当総務員をとおして伝える。

10 表彰について

- ・各種目の1位から3位までの競技者に賞状を授与する。(表彰式は行わない)

11 カメラ及びビデオ撮影について

競技者が安心して競技に専念できるようにカメラ撮影制限エリアを設ける場合がある。盗撮行為が疑われるような「迷惑行為」防止に向けて、撮影者に対しては、本大会役員より撮影データと身分証明の提出を求められる場合がある。

12 個人情報の取り扱いについて

- (1) 主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、日本陸上競技連盟個人情報保護方針に基づき取り扱います。なお、取得した個人情報はプログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用します。
- (2) 個人情報保護の観点から大会の映像・写真等、個人情報に関わる内容についてインターネット等への掲載は禁止とする。

13 練習会場の使用について

- (1) 競技者が本大会で使用する練習用具は、すべて主催者が用意したものを使用し、練習用の個人の用具は練習会場に持ち込んではいならない。
- (2) 本競技場での練習は、 7 : 3 0 ~ 9 : 0 0 まで開放する。
- (3) 補助競技場での練習は、7 : 3 0 ~ 1 6 : 3 0 まで開放する。
- (4) 投てき種目（砲丸投・円盤投・ジャベリックスロー）の練習は第1運動場のみとし、必ず監督・指導者の付き添いを必須とする。
- (5) 競走路使用は原則として以下の通りとする。
 - ・ 1 ~ 2 レーン：中距離
 - ・ 3 ~ 6 レーン（ホームストレート・周回）：短距離
 - ・ 7 レーン（ホームストレート）：1 0 0 mH（本競技場では8 レーン）
 - ・ 8 レーン（ホームストレート）：1 1 0 mH（本競技場では9 レーン）

14 一般注意事項

- (1) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は、医務室に連絡する。
- (2) 競技会での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (3) 大会期間中の貴重品の管理は各自で行う。盗難にあってもその責任は負わない。
- (4) 「記録証明証」の発行を希望する場合は、役員係に 500 円を添えて申し込むこと。
- (5) 提出書類は、次の通りとする。

No.	提出するもの	提出場所	提出時刻
1	欠場届	招集所	招集完了時刻まで
2	多種目同時出場届	招集所	1種目目の招集時
3	アップライト申告書	招集所	招集時
4	上訴申立書(預託金1万円)	担当総務員	競技規則第TR8による
5	記録証明証交付願	役員係	各競技終了後随時(1枚 500円)

- (6) ゴミは各自、持ち帰ること。